

坂東玉三郎が魅せる、文豪・泉鏡花の幻想と美。

150
鏡花生誕150年

珠玉の舞台4作を大スクリーンで一挙上映!

玉三郎と鏡花運命のふたり

養父十四代目守田勘弥の「天守物語」で初めて泉鏡花という、間にさし込む一条の光のような存在を知ったという坂東玉三郎。以後、自身も俳優として、そして演出・監督・監修者として鏡花作品に関わり続け、その数は50回を優に超える。鏡花生前から新派の演目として知られる「滝の白糸」(原作「義血侠血」)や「婦系図」「日本橋」はいうまでもなく、主に鏡花没後に再評価を受けた「夜叉ヶ池」「海神別荘」「天守物語」が今なお愛読、愛好される背景を玉三郎抜きでは語れないことに、誰も異論はないだろう。

実は泉鏡花は、原作を介さずして愛好者を生み出し続ける、稀有な作家でもある。演劇、映画、美しい挿画装幀、コミックスなどを通して鏡花の幻想的で清廉な言葉や世界観に魅了された人々が、次世代の新たな発信者となっていく。現在も続くこの連環において玉三郎が放った眩いほどの光。「あの人の、そして私のファースト鏡花も玉三郎さんだったんですよ?」と、いつか耳打ちしてみたい夢に駆られている。

Column・各作品Point 泉鏡花記念館学芸員 穴倉玉日

Column

玉三郎が演じる鏡花作品の女性たち



2023年10月20日(金)～11月2日(木)



シネマ歌舞伎『海神別荘』

海に捧げられた美女は、海底で清絶な魂と出逢う

海底にある宮殿瓊瑤殿の公子のもとへ、地上の美女が興入れのために向かっている。公子はこの様子を眺め、その美しさに嘆息するのだった。やがて宮殿に到着し歓迎を受ける美女だが、地上への未練を訴え続けると公子は不機嫌となり…。玉三郎特別インタビュー映像付き。

Point 海中異界を思わせる舞台と煌びやかな衣裳に彩られた冒頭の興入れのシーンが、観客を幻想の世界へといざなう。人であることに未練を残す美女に対する公子の言葉を通して、観る側にも俗世の虚飾が突きつけられる。

2009年7月 歌舞伎座 103分
演出 戊井市郎、坂東玉三郎 出演 坂東玉三郎、市川海老蔵(現・市川團十郎)、市川門之助、市川猿弥、市川笑三郎 ほか



シネマ歌舞伎『高野聖』

深山の孤家に住む女に魅せられた、若き僧の一夜

修行僧の宗朝は、道に迷った末たどり着いた孤家で一夜の宿を乞う。この家に住むのは妖艶で気高い女と、病持ちの男、老僕の三人。女の案内で谷川に入り体をぬぐっていると、女が自らも着物を脱いで寄り添ってくる。宗朝は慌てて女の手を振り払い、川から上がるのだが…。玉三郎特別インタビュー映像付き。

Point 飛騨の山中で遭遇した魅惑的な女に翻弄される青年僧。しかし、彼がその美しさを白桃の花にたとえると、女は初々しいような恥じらいを見せる。あらゆる女性美をあわせ持つ妖女を描いた、鏡花の怪奇幻想小説の代表作。

2011年2月 博多座 89分
補綴・演出 石川耕土、坂東玉三郎
出演 坂東玉三郎、中村獅童、中村歌六

2023年11月3日(金祝)～11月16日(木)



シネマ歌舞伎『天守物語』

天上に暮らす姫、千年にたった一度の恋――

白鷺城の天守閣の最上階は、人間たちが近づくことのない、美しい異形の者たちが暮らす別世界。この世界の主こそ、美しく気高い富姫である。ある夜、鷹匠の姫川凶書之助が、逃がしてしまった藩主の鷹を追い天守にやってくる…。玉三郎特別インタビュー映像付き。

Point 獅子頭の霊力により天守を司る気高い妖姫と人間の若侍との恋を描いた鏡花戯曲の最高峰。人智を超えた嗜虐的な美が際立つ前半から、人間以上に人間らしい情熱的な後半の恋物語への息をのむような展開は圧巻である。

2009年7月 歌舞伎座 117分
演出 戊井市郎、坂東玉三郎 出演 坂東玉三郎、市川海老蔵(現・市川團十郎)、中村勘九郎、上村吉弥、市川猿弥、市川門之助、中村獅童、片岡我當 ほか



グランドシネマ『日本橋』

一人の男と二人の芸者すれ違う男女の恋物語

日本橋にお孝と清葉という指折りの名妓がいた。性格は正反対で、清葉は品よく内気であり、お孝は勝ち気で意地が命の女だった。医学生のお孝は姉の偉を重ねる清葉に想いを打ち明けるが、ある事情から拒まれてしまう。傷心のお孝は偶然お孝と出会う…。

Point 明治・大正期の日本橋を舞台に、儚くも義理堅い芸妓たちとこれを取り巻く人々の生き様を描く。人の心の機微が生み出す愛憎劇は鏡花の花柳小説の傑作の名に恥じない。鏡花自ら戯曲化し、新派の名作としても知られる。

2012年12月 日生劇場 147分
演出 齋藤雅文、坂東玉三郎
出演 坂東玉三郎、高橋恵子、松田悟志、永島敏行 ほか